

フランクリン・テンプレトン・ グローバル・プレミア 小型株ファンド (年1回決算型)/(年2回決算型)

追加型投信／内外／株式



お申込みの際は投資信託説明書(交付目論見書)を必ずご覧ください。

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

岡三証券

商号: 岡三証券株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第53号
加入協会: 日本証券業協会/一般社団法人日本投資顧問業協会/一般社団法人金融先物取引業協会/
一般社団法人第二種金融商品取引業協会/一般社団法人日本暗号資産取引業協会

当資料に関するご注意

●当資料は、販売用資料としてフランクリン・テンプレトン・ジャパン株式会社(以下「当社」)が作成した資料です。●当資料は、当社が各種データに基づいて作成したものです。その情報の確実性、完結性を保証するものではありません。●当資料に記載された運用スタンス、目標等は、将来の成果を保証するものではなく、また予告なく変更されることがあります。●この書面及びここに記載された情報・商品に関する権利は当社に帰属します。したがって、当社の書面による同意なくして、その全部もしくは一部を複製し又その他の方法で配布することはご遠慮ください。●投資信託は預金等や保険契約と異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。●証券会社以外で投資信託をご購入された場合は、投資者保護基金の支払いの対象にはなりません。●投資信託は金融機関の預貯金とは異なり、元本及び利息の支払いの保証はありません。●投資信託は値動きのある証券(外国証券には為替リスクもあります)に投資しますので、組入証券の価格の下落や、組入証券の発行者の信用状況の悪化等の影響による基準価額の下落により、損失を被ることがあります。したがって、投資元本は保証されているものではなく、投資元本を割り込むことがあります。●投資資産の減少を含むリスクは、投資信託をご購入のお客様に帰属します。過去の運用実績は将来の運用成果等を保証するものではありません。●投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡しいたしますので、必ず内容を十分ご確認のうえご自身でご判断ください。●投資信託説明書(交付目論見書)は、取扱販売会社の窓口にご請求ください。●当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。●フランクリン・テンプレトン・ジャパン株式会社(金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第417号)はフランクリン・リソース・インク傘下の資産運用会社です。

設定・運用は

フランクリン・テンプレトン・ジャパン

商号: フランクリン・テンプレトン・ジャパン株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第417号
加入協会: 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

*Royce & Associates,
Small-cap specialist with unparalleled
knowledge and experience*

私たちロイス・アンド・アソシエイツ、エルピー*は、
他では真似できない深い知識と経験を有した
小型株のスペシャリストです。

*ロイス・アンド・アソシエイツ、エルピーは以下「ロイス・インベストメント・パートナーズ」と記載することがあります。

*ロイス・アンド・アソシエイツ、エルピーはロイス・インベストメント・パートナーズのブランド名で事業活動を行っています。

当ファンドのポイント

1

小型株運用のパイオニアである 「ロイス・インベストメント・パートナーズ」が運用

ロイス・インベストメント・パートナーズは、世界有数の小型株運用のスペシャリストです。
小型株運用のパイオニアで半世紀近くの歴史を有しています。

2

小型株への魅力的な投資機会を追求

「ビジネス・オーナーとして保有したいか」という観点から厳選した“プレミアム企業”^{*}への投資を行います。
質の高い小型株への厳選投資を行うことで、投資成果の獲得を目指します。

*プレミアム企業とは、際立ったビジネス・モデルや優れた財務内容に着眼し、ロイス・インベストメント・パートナーズが独自に選定した質の高い企業のことを言います。

投資家の皆さまへ

小型株投資という選択肢

リーマン・ショック以降、グローバル経済は回復と成長のサイクルを経験してきました。現在世界中の投資家の皆さまが「次の投資機会は何か?」と模索する中、その選択肢の一つが小型株投資です。

ロイス・インベストメント・パートナーズの小型株運用

ロイス・インベストメント・パートナーズは小型株運用に特化した運用会社です。「小型株」と聞くと、短期間で急速に成長し、株価も大きく上昇する企業、いわゆる「アメリカン・ドリーム」の世界をイメージする方が多いかもしれません。

しかし、当戦略での小型株運用は、そういった一般的なイメージのものに留まりません。「ビジネス・オーナーとして、その企業の株式を保有したいか」という観点から確信度の高い銘柄を厳選し、中長期的に優れた投資成果をお届けすることを目指しています。小型株の分析・運用には特別なノウハウや情報の蓄積が必要となりますが、私たちにはそのトップランナーとしての自負があります。

日本で初めての運用機会のご提供

「フランクリン・templton・グローバル・プレミア小型株ファンド」は、日本で初めてロイス・インベストメント・パートナーズの運用をご提供するファンドです。ぜひこの機会に、ご検討いただけますよう、お願い申し上げます。

ロイス・インベストメント・パートナーズ

ROYCE
Investment Partners

「ロイス・インベストメント・パートナーズ」について

ロイス・インベストメント・パートナーズ

■ 1972年設立

■ 米国ニューヨークを本社とし、運用資産総額は124億米ドル(約1.8兆円)

■ 米国小型株の代表的な指数「ラッセル2000」の公表開始(1984年)以前の設定時から一貫して小型株を運用

ROYCE
Investment Partners

創業者 チャック・ロイス

■ 1962年より資産運用業界に従事

■ 米国では「小型株投資の長老」と呼ばれ、現在もポートフォリオ・マネジャーとして活躍

※同氏は、当ファンドのポートフォリオ・マネジャーではありません。

ロイス・インベストメント・パートナーズを象徴する2つの数字

98% 小型株のスペシャリスト
ロイス・インベストメント・パートナーズは運用資産の98%を小型株で運用しています。

93% 自己投資によるポートフォリオ・マネジャーの強いコミット
同社のポートフォリオ・マネジャーが100万米ドル以上自己投資している
同社ファンドの資産の合計は、同社ファンドの総資産の93%*になります。
**自己投資について、同社は受益者との利益相反が起こらない仕組みを構築しています。
また、当ファンドへの投資は行いません。**

(出所)ロイス・インベストメント・パートナーズ 2023年12月末時点

※為替は三菱UFJ銀行の2023年12月末 1米ドル=141.83円にて円換算

* 同社の小型株に投資する米国籍のオープン・エンド型ミューチュアル・ファンドの総運用資産に占める、少なくとも1人のポートフォリオ・マネジャーが100万米ドル以上投資しているファンドの運用資産の割合

ロイス・インベストメント・パートナーズの主な受賞歴



* 1. Royce International Premier Fund



* 2. Royce Opportunity Fund



* 3. Legg Mason Royce US Small Cap Opportunity Fund

※上記の受賞歴は当ファンドを対象としたものではありません。過去の一定期間の実績を分析したものであり、将来の運用成果等を保証したものではありません。



チャック・ロイス

本資料に記載するデータは、過去の実績であり、将来の運用成果等を予測あるいは保証するものではありません。

本資料の表紙「当資料に関するご注意」を確認ください。

グローバル小型株のパフォーマンスと利益見通し



- 過去20年間では、グローバル小型株はグローバル大型株を上回るパフォーマンスとなっています。
- グローバル小型株は、グローバル大型株と比べて高い利益成長が予測されています。

グローバル小型株のパフォーマンス

(2003年12月末～2023年12月末)



(出所) ブルームバーグ

※グローバル小型株：MSCI ACWI 小型株指数、

グローバル大型株：MSCI ACWI 大型株指数。

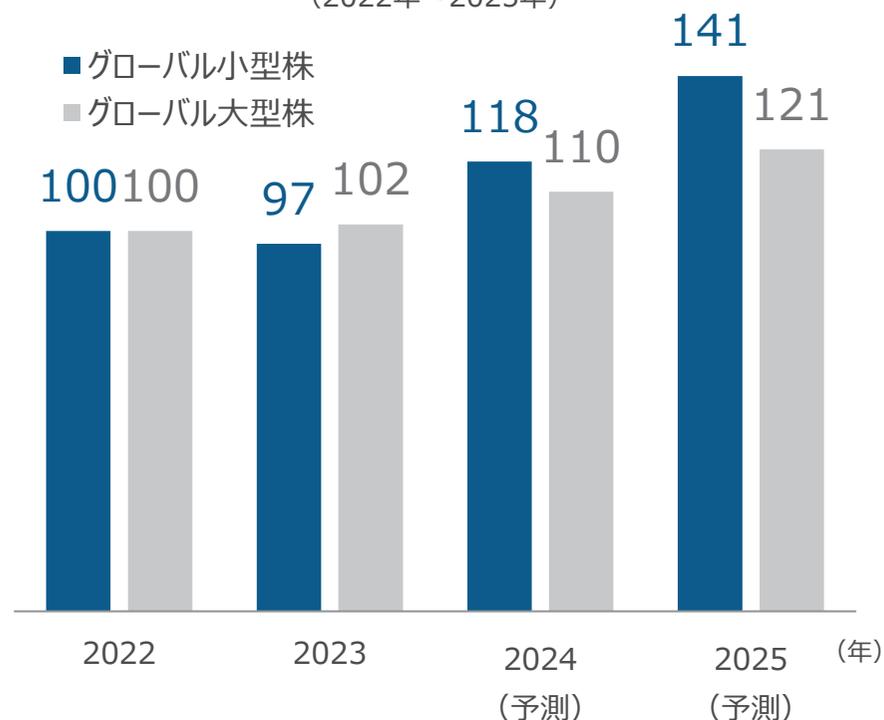
※米ドルベース、全て配当込み。

※2003年12月末を100として指数化。

※MSCI ACWI 小型株指数は当ファンドのベンチマークではありません。

グローバル小型株の1株当たり利益見通し

(2022年～2025年)



(出所) ブルームバーグ

※グローバル小型株：MSCI ACWI 小型株指数、

グローバル大型株：MSCI ACWI 大型株指数。

※米ドルベース。 ※予測は2024年1月4日時点。

※2022年を100として指数化。

※MSCI ACWI 小型株指数は当ファンドのベンチマークではありません。

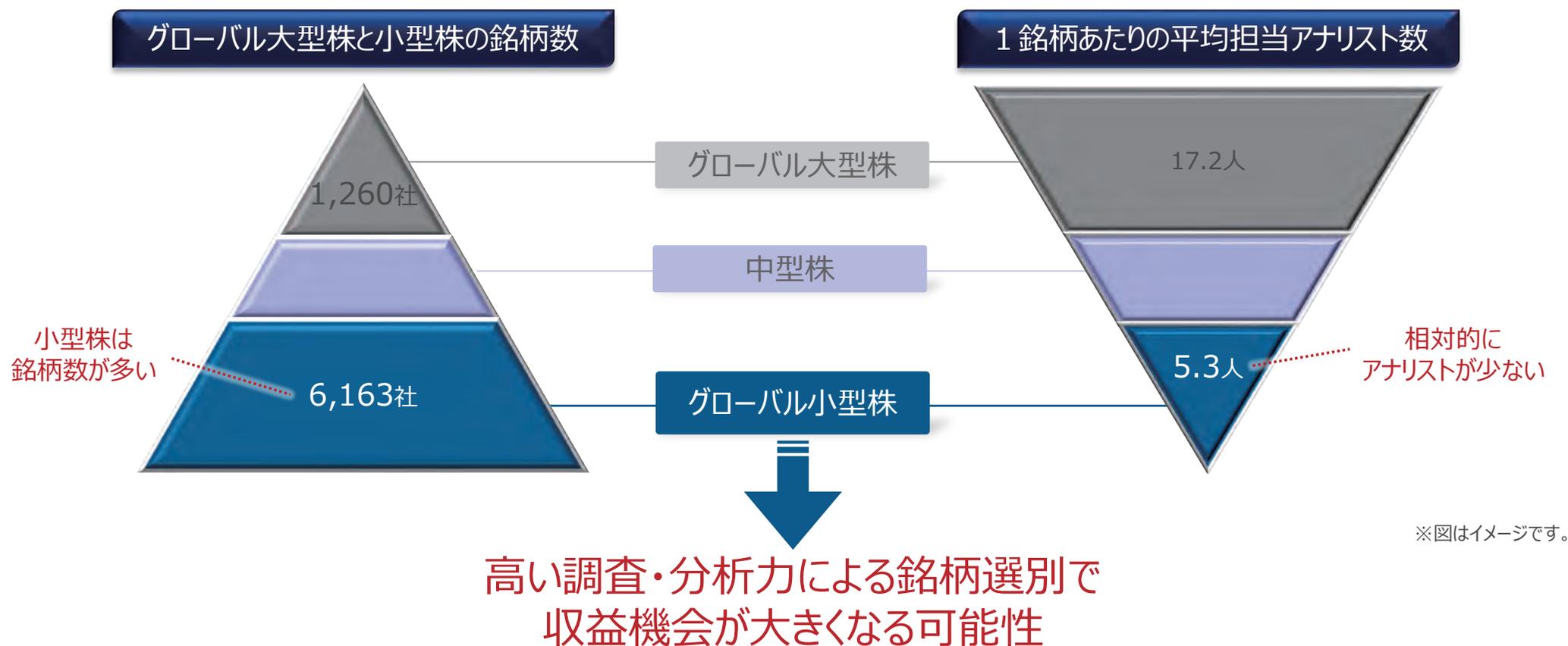
本資料に記載するデータは、過去の実績であり、将来の運用成果等を予測あるいは保証するものではありません。

本資料の表紙「当資料に関するご注意」をご確認ください。

グローバル小型株の銘柄選別による収益機会



- グローバル小型株は銘柄数が多いため、幅広い投資機会があります。
- グローバル小型株は分析しているアナリストが相対的に少ないため、小型株に強い運用会社にとっては銘柄選別による収益機会が大きいと考えられます。



(出所) ブルームバーグ、ファクトセット 2023年12月末時点

※グローバル小型株：MSCI ACWI 小型株指数、グローバル大型株：MSCI ACWI 大型株指数。

※MSCI ACWI 小型株指数は当ファンドのベンチマークではありません。

本資料に記載するデータは、過去の実績であり、将来の運用成果等を予測あるいは保証するものではありません。
本資料の表紙「当資料に関するご注意」をご確認ください。



1 日本を含む先進国および新興国の金融商品取引所に上場されている小型株式に投資します。

- ・フランクリン・テンプルトン・グローバル・プレミア小型株マザーファンド（以下「マザーファンド」ということがあります。）を通じて、主に日本を含む先進国および新興国の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）されている小型株式に投資します。
- ・個別企業に対する定量的および定性的なファンダメンタルズ分析に基づき、競争力、収益性、財務の安定性に優れていると評価された銘柄を厳選し、ポートフォリオを構築します。
- ・投資対象とする国に制限は設けません。新興国への投資割合は、取得時において30%を上限の目安とします。

2 外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。

3 「年1回決算型」と「年2回決算型」があります。

- ・年1回決算型：毎年12月6日（休業日の場合は翌営業日。）
- ・年2回決算型：毎年6月6日及び12月6日（休業日の場合は翌営業日。）

※委託会社の判断により、分配を行わない場合があります。

4 運用はフランクリン・テンプルトン・グループのロイス・アンド・アソシエイツ、エルピーが行います。

- ・マザーファンドの運用は、「ロイス・アンド・アソシエイツ、エルピー」に委託します。
- ※ロイス・アンド・アソシエイツ、エルピーはロイス・インベストメント・パートナーズのブランド名で事業活動を行っています。

※資金動向、市場動向によっては上記のような運用ができない場合があります。

本資料に記載するデータは、過去の実績であり、将来の運用成果等を予測あるいは保証するものではありません。
本資料の表紙「当資料に関するご注意」をご確認ください。

投資哲学： プレミア企業への投資



プレミアム企業とは、際立ったビジネス・モデルや優れた財務内容に着眼し、ロイス・インベストメント・パートナーズが独自に選定した質の高い企業のことを言います。当ファンドではビジネス・オーナーとしてその会社を所有したいかという点を重視し、“**プレミアム企業**”に投資を行います。

プレミア企業を発掘するための着眼点

際立ったビジネス・モデル

明確な
強み



他社が真似できない明確な強みを持つ

高い
利益率



景気動向に左右されず、利益率が
高く安定的

参入
障壁



他社の参入を阻む「壁」（ブランドカ、
規模、知的財産など）を保有

優れた財務内容

バランス
シート
重視



不況時をチャンスにできる、健全な
財務内容

成長
重視



さらなる成長のために利益を再投資

本業を
重視



強みのある主力事業に注力し、株主
還元策も意識

(出所) ロイス・インベストメント・パートナーズ

本資料に記載するデータは、過去の実績であり、将来の運用成果等を予測あるいは保証するものではありません。
本資料の表紙「当資料に関するご注意」をご確認ください。

基準価額の推移



(年1回決算型) 基準価額の推移

(設定来：2018年12月7日～2023年12月29日)



基準価額	15,772円	分配金累計額	0円
純資産総額	約54億円		

(年2回決算型) 基準価額の推移

(設定来：2018年12月7日～2023年12月29日)



基準価額	11,103円	直近分配金 (2023年12月)	50円
純資産総額	約28億円	分配金累計額	3,910円

騰落率

(2023年12月末時点)

(年1回決算型)

1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
5.70%	4.93%	0.59%	16.48%	24.05%	57.72%

(年2回決算型)

1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
5.69%	4.93%	0.58%	16.48%	24.03%	57.71%

※上記グラフは、過去の実績を示したものであり、将来の成果を保証するものではありません。基準価額は1万口当たり、信託報酬控除後。

※騰落率は年1回決算型は基準価額、年2回決算型は基準価額（分配金込み）で計算。

※年2回決算型：分配金は税引き前、1万口当たり。分配金込みの基準価額は、税引前分配金を再投資（複利運用）したと仮定して、委託会社が算出したものです。分配金については、運用状況によって分配金額が変わる場合、又は分配金が支払われない場合があります。

本資料に記載するデータは、過去の実績であり、将来の運用成果等を予測あるいは保証するものではありません。

本資料の表紙「当資料に関するご注意」をご確認ください。

ポートフォリオの概況

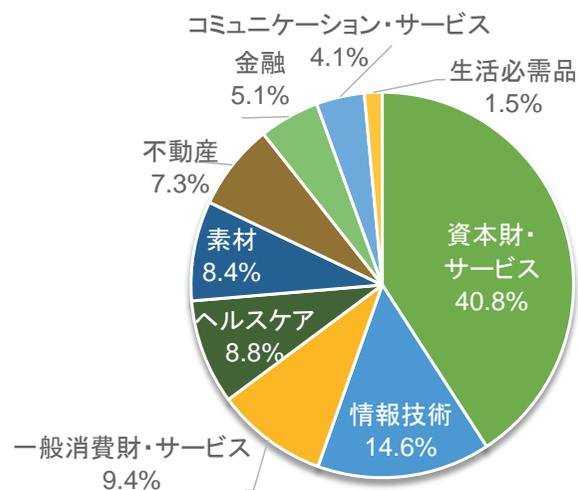


ポートフォリオの概況

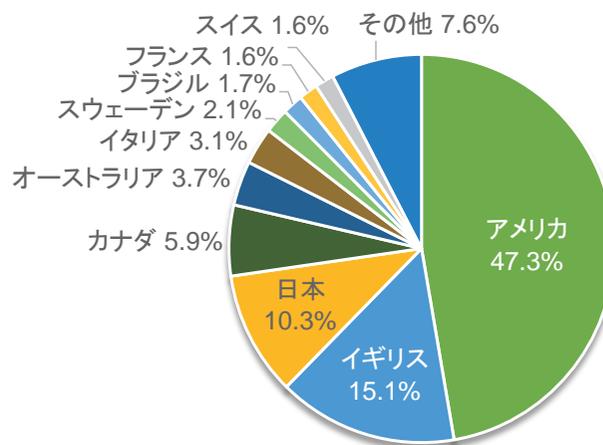
(2023年12月末時点)

	銘柄数	投下資本利益率 (ROIC) *1	負債比率 *2	平均時価総額
マザーファンド	75	16.58%	23.93%	5,592億円
グローバル小型株指数	6,163	12.95%	27.97%	2,664億円

【業種別構成比率】

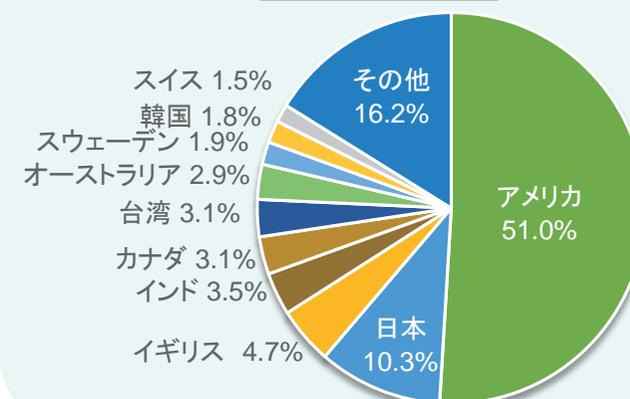


【国別構成比率】



【ご参考】

グローバル小型株指数の 国別構成比率



(出所) ブルームバーグ、ロイス・インベストメント・パートナーズ

*1 ROICは企業の営業利益（EBIT、過去12ヵ月）を平均投下資本（株主資本－現金・現金同等物＋有利子負債・少数株主持分・優先株式）で除して計算

*2 負債比率は企業の負債を総資産で除して計算

※マザーファンド：フランクリン・テンプレトン・グローバル・プレミア小型株マザーファンド、グローバル小型株指数：MSCI ACWI 小型株指数 ※セクターはGICS（世界産業分類基準）による分類です。

※平均時価総額はブルームバーグの2023年12月末時点 1米ドル=141.04円にて円換算。※構成比率は投資有価証券を対象として算出・作成しており、キャッシュ部分は含まれておりません。

※小数点以下第2位四捨五入のため、合計が100.0%にならない場合があります。

※MSCI ACWI 小型株指数は当ファンドのベンチマークではありません。

本資料に記載するデータは、過去の実績であり、将来の運用成果等を予測あるいは保証するものではありません。

本資料の表紙「当資料に関するご注意」をご確認ください。

ポートフォリオ : 組入上位10銘柄



組入上位10銘柄

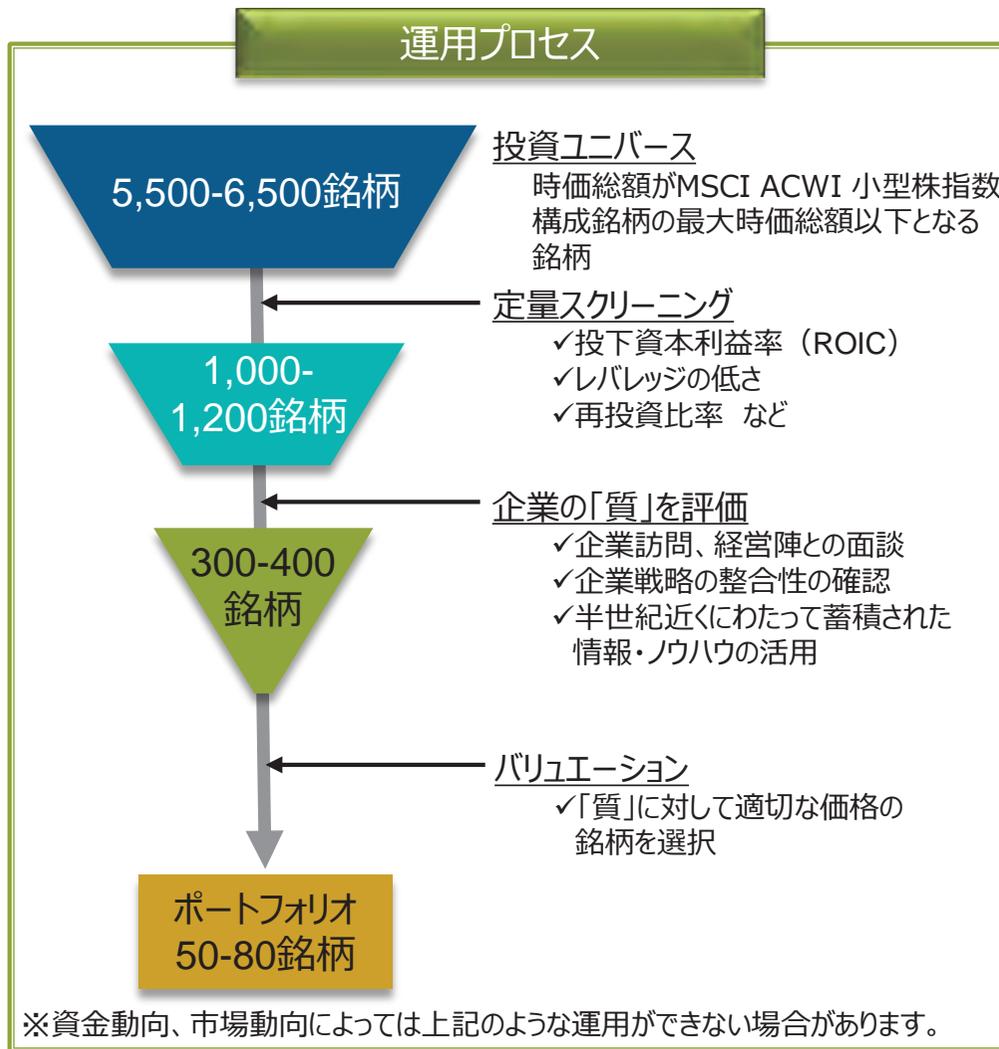
	銘柄名	国	業種	組入比率	概要
1	ファーストサービス	カナダ	不動産	2.6%	北米を中心に事業を展開するカナダの不動産管理サービス会社。住宅と商業施設の管理・運営サービスや各種補完サービスを手掛ける。
2	MKSインストルメンツ	アメリカ	情報技術	2.5%	米国の産業機器メーカー。半導体向けなどには計測器、サブシステム、プロセス制御ソリューションを提供。
3	クエーカー・ケミカル	アメリカ	素材	2.4%	特殊化学品の開発、製造、販売を行う。鉄鋼、自動車、製缶メーカー等に製品・サービスを提供。
4	コリアーズ・インターナショナル・グループ	カナダ	不動産	2.3%	カナダの不動産サービス会社。北米を中心に投資管理事業、アウトソーシング&アドバイザー事業、リース事業、資本市場事業を手掛ける。
5	イノスペック	アメリカ	素材	2.3%	燃焼効率を向上するための燃料添加剤等、特殊化学品の開発・製造を行う。
6	TKC	日本	資本財・サービス	2.2%	会計事務所及び地方公共団体に対して、財務会計や税務に関する情報サービスを提供。
7	ビー・エム・エル	日本	ヘルスケア	1.9%	臨床検査受託大手。生化学、免疫、血液等の臨床検査を医療機関に提供。食品検査や医療情報システム（電子カルテ）なども手掛ける。
8	アルコサ	アメリカ	資本財・サービス	1.9%	米国のインフラ関連企業。建設製品事業、風力開発施設を含むエンジニアリング構造事業、輸送製品事業を手掛ける。
9	ラーニング・テクノロジーズ・グループ	イギリス	資本財・サービス	1.9%	法人・政府機関向けeラーニングを提供。米国、英国、および欧州などで事業を展開。
10	バルボリン	アメリカ	一般消費財・サービス	1.9%	米国の自動車用オイルメーカー。エンジンオイル、不凍液、冷却液、トランスミッションオイル、ギアオイルなどを製造・販売。

(出所) ロイス・インベストメント・パートナーズ、ブルームバーグ 2023年12月末時点

※フランクリン・テンプレトン・グローバル・プレミアム小型株マザーファンド。銘柄名は各種資料を参考にフランクリン・テンプレトン・ジャパンが翻訳したものであり、発行体の公式な名称と異なる場合があります。
 ※組入比率は投資有価証券を対象として算出・作成しており、キャッシュ部分は含まれておりません。※上記は組入銘柄の一部をご紹介しますものであり、個別銘柄の推奨を目的としたものではありません。
 ※業種はGICS（世界産業分類基準）による分類です。

本資料に記載するデータは、過去の実績であり、将来の運用成果等を予測あるいは保証するものではありません。
 本資料の表紙「当資料に関するご注意」をご確認ください。

運用プロセス／銘柄紹介①



TKC (日本、情報技術)

- 会計事務所及び地方公共団体に対して、財務会計や税務に関する情報サービスを提供 (1966年設立)
- 時価総額：1,999億円 (2023年12月末時点)



※写真はイメージです。

ロイスの評価ポイント

- ✓ 定期的なサービス収入による安定的なビジネス・モデル
- ✓ 強固な財務内容で景気変動に対する強い抵抗力がある



(出所) ロイス・インベストメント・パートナーズ、ブルームバーグ、TKC会社資料、※株価は2016年初～2023年12月末。※利益はEBITDA (利払い前・税引き前・減価償却前利益)、2024年度の予測値なし (2024年1月17日時点)。※TKCの年度：前年10月～当年9月。※グラフ横軸単位 (年度、年)：年度は利益、年は株価に対応。

※銘柄名は各種資料を参考にフランクリン・templton・ジャパンが翻訳したものであり、発行体の公式な名称と異なる場合があります。※業種はGICS (世界産業分類基準) による分類です。

上記の銘柄は投資者の皆さまにイメージをつかんでいただくために、ロイス・インベストメント・パートナーズより提供された情報であり、将来の組み入れを示唆・保証するものではありません。また、特定の有価証券等の取得または売買推奨を行うものではありません。

本資料に記載するデータは、過去の実績であり、将来の運用成果等を予測あるいは保証するものではありません。
本資料の表紙「当資料に関するご注意」をご確認ください。

銘柄紹介②



IPH (オーストラリア、資本財・サービス)

- 知的財産権の保護、管理、商業化等に関する業務を提供 (2014年設立)
- オーストラリア等を中心にアジア地域で事業展開
- 時価総額：1,515億円 (2023年12月末時点)



※為替はブルームバーグの2023年12月末 1豪ドル=96.06円にて円換算

※写真はイメージです。

👉 ロイスの評価ポイント

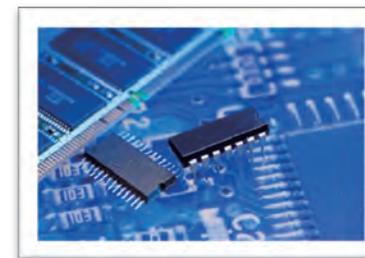
- ✓ 特許期間が切れるまでの長期的なサービス収入による安定的な収益構造
- ✓ 強固なバランスシートとM&Aを活用した成長戦略



MKSインストルメンツ

(米国、情報技術)

- 産業機器メーカー (1961年設立)
- 半導体向けなどに計測器、サブシステム、プロセス制御ソリューションを提供
- 時価総額：9,703億円 (2023年12月末時点)



※為替はブルームバーグの2023年12月末 1米ドル=141.04円にて円換算

※写真はイメージです。

👉 ロイスの評価ポイント

- ✓ 半導体製造装置やマイクロエレクトロニクス製造に欠かせない部品やサブシステムの分野で高いシェアを誇る
- ✓ 半導体の需要増加によって業績拡大の期待



(出所) ロイス・インベストメント・パートナーズ、ブルームバーグ、IPH会社資料、MKSインストルメンツの会社資料 ※株価は2016年初～2023年12月末
 ※利益はEBITDA (利払い前・税引き前・減価償却前利益)、IPHの予測はブルームバーグの2024年1月17日時点の予測値。MKSインストルメンツの予測はブルームバーグの2024年1月19日の予測値。
 ※IPHの年度：前年7月～当年6月、MKSインストルメンツの年度：当年1月～12月。※グラフ横軸単位 (年度、年)：年度は利益、年は株価に対応。※銘柄名は各種資料を参考にフランクリン・テンプレートン・ジャパンが翻訳したものであり、発行体の公式な名称と異なる場合があります。※業種はGICS (世界産業分類基準) による分類です。

上記の銘柄は投資者の皆さまにイメージをつかんでいただくために、ロイス・インベストメント・パートナーズより提供された情報であり、将来の組み入れを示唆・保証するものではありません。また、特定の有価証券等の取得または売買推奨を行うものではありません。

本資料に記載するデータは、過去の実績であり、将来の運用成果等を予測あるいは保証するものではありません。
 本資料の表紙「当資料に関するご注意」をご確認ください。



リストア (英国、資本財・サービス)



- 文書保管、データの保存、データのデジタル化、オフィス移転、シュレッダーサービスなどのオフィスベースのサービスを提供。(2004年設立)
- 英国国内でオフィス移転におけるリーディングカンパニー
- 時価総額：541億円 (2023年12月末時点)

※為替はブルームバーグの2023年12月末 1英ポンド=179.56円にて円換算 ※写真はイメージです。

ロイスの評価ポイント

- ✓ 企業の文書保管など長期的かつ収益性の高い収益構造
- ✓ 強固な顧客基盤とM&Aを活用した成長戦略

クエーカー・ケミカル (米国、素材)



- 世界100か国超でビジネスを展開する金属加工油剤のリーディングカンパニー (1918年設立)
- 金属加工で発生する摩擦軽減等に使用される油剤を自動車等幅広い産業に提供
- 時価総額：5,414億円 (2023年12月末時点)

※為替はブルームバーグの2023年12月末 1米ドル=141.04円にて円換算 ※写真はイメージです。

ロイスの評価ポイント

- ✓ 保有資産を最小限に抑え顧客との密な接点を重視するビジネス・モデル
- ✓ 増配基調を維持



(出所) ロイス・インベストメント・パートナーズ、ブルームバーグ、リストア会社資料、クエーカー・ケミカル会社資料 ※株価は2016年初～2023年12月末。※利益はEBITDA (利払い前・税引き前・減価償却前利益)、予測はブルームバーグの2024年1月17日時点の予測値。※リストア、クエーカー・ケミカルの年度：当年1月～12月。※グラフ横軸単位 (年度、年)：年度は利益、年は株価に対応。※銘柄名は各種資料を参考にフランクリン・テンプレート・ジャパンが翻訳したものであり、発行体の公式な名称と異なる場合があります。※業種はGICS (世界産業分類基準) による分類です。

上記の銘柄は投資者の皆さまにイメージをつかんでいただくために、ロイス・インベストメント・パートナーズより提供された情報であり、将来の組み入れを示唆・保証するものではありません。また、特定の有価証券等の取得または売買推奨を行うものではありません。

本資料に記載するデータは、過去の実績であり、将来の運用成果等を予測あるいは保証するものではありません。
本資料の表紙「当資料に関するご注意」をご確認ください。

(ご参考) 運用担当者による類似戦略の運用実績



- 米国以外の小型株と米国小型株、それぞれを主な投資対象とした類似戦略において、長期にわたる運用実績を有しています。

米国以外の小型株を主な投資対象とした戦略の運用実績

- ✓ 銘柄数 : 58
- ✓ 運用期間 : 約13年
- ✓ 純資産総額 : 約707億円

- パフォーマンス推移 (設定 : 2010年12月末～2023年12月末)



- リターン (年率)

	3年	5年	10年	設定来
戦略	-5.83%	5.43%	5.45%	5.74%
MSCI ACWI (除く米国) 小型株指数	1.49%	7.89%	4.88%	4.90%

(出所) ロイス・インベストメント・パートナーズ、ブルームバーグ 2023年12月末時点

※各戦略のパフォーマンスはInvestment Class (米ドルベース、信託報酬控除後、税金は未考慮)、各戦略の純資産総額はブルームバーグの2023年12月末時点 1米ドル=141.04円にて円換算。

※MSCI ACWI (除く米国) 小型株指数、ラッセル2000指数は米ドルベース、全て配当込み。

上記は当ファンド運用担当者による類似戦略の運用実績であり、当ファンドの運用実績ではありません。上記戦略と当ファンドの保有銘柄は必ずしも一致しません。

米国小型株を主な投資対象とした戦略の運用実績

- ✓ 銘柄数 : 50
- ✓ 運用期間 : 約32年
- ✓ 純資産総額 : 約2,035億円

- パフォーマンス推移 (設定 : 1991年12月末～2023年12月末)



- リターン (年率)

	3年	5年	15年	30年	設定来
戦略	6.42%	12.51%	11.65%	10.85%	11.25%
ラッセル 2000指数	2.22%	9.97%	11.30%	8.56%	9.17%

本資料に記載するデータは、過去の実績であり、将来の運用成果等を予測あるいは保証するものではありません。

本資料の表紙「当資料に関するご注意」をご確認ください。

(ご参考) 投資事例



- 投資事例を見ると、投資開始後に追加投資や売却など、状況に応じて投資判断を行っていることがわかります。

ロジャーズ (米国、情報技術)

- 5G無線基地局や電気自動車 (EV車) などに使用する高スペックのエンジニアリング材料を設計、製造。



① 投資開始	米国と中国の知的財産権紛争により大口顧客のHuaweiのシェアが低下したことで、ロジャーズの株価が下落。経営陣との面談から、損失は別の成長戦略によって克服できると確信し、投資を開始
② 一部売却	株価が投資開始時より70%以上上昇したため、一部ポジションを縮小
③ 全売却	2021年11月にデュボンが買収を発表、株価が投資開始時より141%上昇し全売却

ハンセン・テクノロジー (オーストラリア、情報技術)

- 電気通信会社と公益企業に対し、総合的請求システムソフトウェアの開発とサポートを提供する世界的なリーディングカンパニー。



① 投資開始	利益率が高いリピーター顧客からの収入が大きな割合を占める事業であることから、ファンド設定時に投資開始
② 一部売却	2021年9月、買収提案取り下げで株価は下落するも、その後10月に年初来高値を更新したためポジションを縮小
③ 継続保有中	同社への見通しに変更はないことから継続保有中。今後は状況に応じて追加投資/売却などを臨機応変に対応

(出所) ロイス・インベストメント・パートナーズ、ブルームバーグ

※銘柄名は各種資料を参考にフランクリン・テンプルトン・ジャパンが翻訳したものであり、発行体の公式な名称と異なる場合があります。※業種はGICS (世界産業分類基準) による分類です。

上記は過去の投資事例の説明を目的としたものであり、当該銘柄への投資を推奨するものではありません。

本資料に記載するデータは、過去の実績であり、将来の運用成果等を予測あるいは保証するものではありません。
本資料の表紙「当資料に関するご注意」をご確認ください。

(ご参考) 運用チームの類似戦略における投資銘柄のM&A事例



- 類似戦略を見ると、過去、投資銘柄が買収されたケースが複数あります。
- 小型企業は成長性の高さから買収対象となることがあり、そのような場合には買収による株価上昇が期待されます。

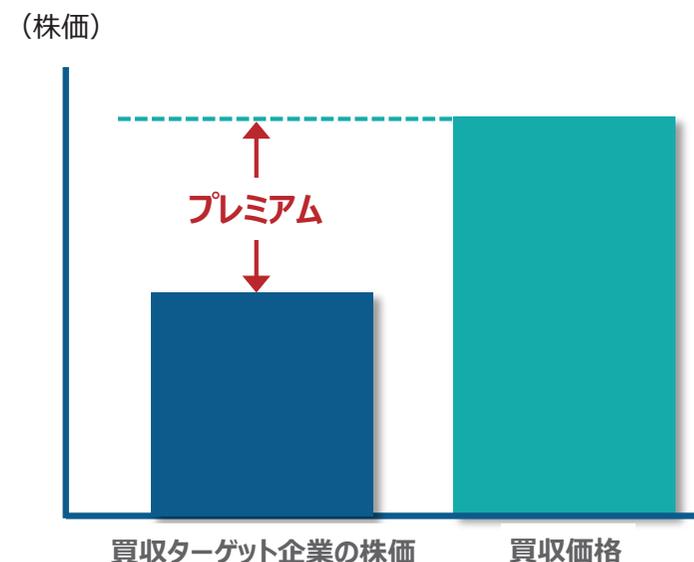
類似戦略の投資銘柄のM&A事例

(2019年～2023年)

類似戦略	銘柄名	上場国	M&A発表日	プレミアム*
米国の小型株を 主な投資対象 とした戦略	サザビーズ	米国	2019/6/17	+59.2%
	メディシズ・カンパニー	米国	2019/11/24	+48.4%
	サーゲンMIカナダ	カナダ	2020/10/26	+25.6%
	SEACORホールディングス	米国	2020/12/7	+21.1%
	コヒレント	米国	2021/3/25	+16.1%
	ロジャース	米国	2021/11/2	+45.4%
	CMCマテリアルズ	米国	2021/12/15	+41.6%
	アリゲニー	米国	2022/3/21	+29.0%
	メリディアン・バイオサイエンス	米国	2022/7/7	+16.0%
	コンピューター・サービス	米国	2022/8/22	+53.5%
	IAA	米国	2023/1/23	+9.9%
	ナショナル・インスツルメンツ	米国	2023/4/12	+16.2%
アビッド・テクノロジー	米国	2023/8/9	+6.1%	
米国以外の小型株を 主な投資対象 とした戦略	インタートラスト	オランダ	2021/12/6	+14.7%
	ライフワークス	カナダ	2022/6/16	+87.5%
	クリスチャン・ハンセン	デンマーク	2022/12/12	+43.0%
	ポアビスタサービス	ブラジル	2023/2/9	+3.4%
	シムコープ	デンマーク	2023/4/27	+42.4%
	エルゴメド	イギリス	2023/9/4	+28.3%

M&Aにおけるプレミアム (イメージ図)

買収ターゲット企業の評価に応じて
上乗せされるプレミアムは変動します



(出所) ロイス・インベストメント・パートナーズ、ブルームバーグ *プレミアムは買収価格のM&A発表前日までの20営業日の平均株価に対するプレミアム。 ※2023年12月末時点
※銘柄名は各種資料を参考にフランクリン・テンプレート・ジャパンが翻訳したものであり、発行体の公式な名称と異なる場合があります。

上記は各類似戦略が過去に投資していた銘柄を紹介するものであり、個別銘柄の売買等を推奨するものではありません。

本資料に記載するデータは、過去の実績であり、将来の運用成果等を予測あるいは保証するものではありません。
本資料の表紙「当資料に関するご注意」をご確認ください。

投資リスクについて



当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資を行いますので基準価額は変動します。また、実質的に外貨建資産に投資を行いますので、為替の変動による影響を受けます。したがって、**投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。当ファンドの信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者の皆さまに帰属します。投資信託は預貯金と異なります。**

当ファンドの基準価額を下落させることがあるいろいろなリスクを理解して、慎重に投資をご判断ください。当ファンドの主な投資リスクは下記の通りです。

①株価変動リスク（株価が下がると、基準価額が下がるリスク）

一般的に株式市場が下落した場合には、当ファンドの投資対象である株式の価格は下落、結果として、当ファンドの基準価額が下落し投資元本を割り込むことがあります。また、当ファンドが実質的に投資している企業が業績悪化や倒産等に陥った場合、当該企業の株式の価格が大きく下落し、当ファンドの基準価額により大きな影響を及ぼします。

②為替変動リスク（円高になると、基準価額が下がるリスク）

一般的に外国為替相場が円高となった場合には、実質的に保有する外貨建資産に為替差損（円換算した評価額が減少すること）が発生することにより、当ファンドの基準価額が下落し投資元本を割り込むことがあります。

③カントリーリスク（新興国に投資するリスク）

一般的に、新興国の有価証券市場は、先進国の市場と比較して市場規模が小さく、相対的に流動性の低い市場が含まれます。また、法制度・会計基準等が先進国と異なる場合や、情報開示規制・決済システム等が未整備である場合があります。そのため、新興国の有価証券は、先進国の有価証券と比較して、価格変動が大きくなる場合があります。当ファンドの実質的な投資対象国においては、特有の税制が存在する場合や、税制が突然変更されたり、新たな税制が適用される場合があり、これにより当ファンドの基準価額に影響を受けることがあります。当ファンドの実質的な投資対象国における政治、経済、社会情勢の変化、税制、

適用税率の変更、通貨または資本規制等の投資機会に影響を与える規制の発動等に伴い、当ファンドの投資目標に沿った運用が困難となる場合や基準価額が大幅に変動または下落する可能性があります。

④流動性リスク（小型株に投資するリスク）

一般的に小型株式は大型株式と比較して、市場での取引量が少ない場合があり、売買しようとする際に売買が成立しないこと、市場実勢から期待できる価格どおりに取引が行えないことがあり、これらの要因が当ファンドの基準価額に影響を及ぼす可能性があります。

その他の留意点

・収益分配金は分配方針に基づいて毎決算時に委託会社が決定します。ただし、分配対象額が少額等の場合は、分配を行わないことがあります。

・当ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要がある場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金の申込みの受付けが中止となる可能性、換金代金の支払いが遅延する可能性があります。

（注）基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

その他重要な事項に関しては、投資信託説明書（交付目論見書）等に詳しく記載されていますので、必ずよくお読みください。

※ MSCI ACWI 小型株指数（MSCI オール・カントリー・ワールド・インデックス小型株指数）とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を含む世界の主要先進国・新興国の小型株式で構成されています。MSCIが算出する指数に対する著作権及びその他知的財産権は、全てMSCI Inc.に帰属します。MSCI Inc.では、かかるデータに基づく投資による損失に一切責任を負いません。



詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

購入単位	販売会社が定める単位
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
換金単位	販売会社が定める単位
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額
換金代金	換金申込受付日から起算して、原則として6営業日目からお支払いします。
申込締切時間	原則として、午後3時までに受付けたものを当日の申込受付分とします。
購入・換金の申込受付不可日	ロンドン証券取引所またはニューヨーク証券取引所の休業日の場合には、購入・換金申込は受けません。
換金制限	資金管理を円滑に行うため、信託財産の残高規模、市場の流動性の状況等によっては、換金制限を設ける場合があります。
スイッチング	販売会社によっては、スイッチングの取扱いを行わない場合があります。スイッチング時には、税金、購入時手数料がかかる場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
信託期間	2044年12月6日まで（2018年12月7日設定）※信託期間は延長することがあります。
繰上償還	次のいずれかに該当する場合等には、繰上償還を行うことがあります。 ●各ファンドの信託財産の純資産総額が20億円を下回った場合 ●マザーファンドを投資対象とするすべての証券投資信託の信託財産の純資産総額の合計額が30億円を下回った場合 ●受益者のため有利であると認める場合 ●やむを得ない事情が発生した場合
決算日	年1回決算型：毎年12月6日（休業日の場合は翌営業日） 年2回決算型：毎年6月6日及び12月6日（休業日の場合は翌営業日）
収益分配	毎決算時に、分配方針に基づき分配を行います。当ファンドには分配金を受取る「一般コース」と分配金を再投資する「自動けいぞく投資コース」があります。 ※販売会社によっては、どちらか一方のコースのみの取扱いとなる場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
課税関係	課税上は株式投資信託として取扱われます。 公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合に少額投資非課税制度（NISA）の適用対象となります。当ファンドは、NISAの「成長投資枠（特定非課税管理勘定）」の対象です。ただし、販売会社により取扱いが異なる場合がありますので、詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 配当控除および益金不算入制度の適用はありません。

本資料に記載するデータは、過去の実績であり、将来の運用成果等を予測あるいは保証するものではありません。
本資料の表紙「当資料に関するご注意」をご確認ください。



投資者が直接的に負担する費用

詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

購入時手数料	申込金額（購入申込受付日の翌営業日の基準価額に申込口数を乗じて得た額）に販売会社がそれぞれ独自に定める率を乗じて得た額とします。手数料率の上限は、 3.3% （ 税抜3.0% ）です。 詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
信託財産留保額	ありません。

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用 （信託報酬）	純資産総額に対し 年率1.87% （ 税抜1.70% ） ※運用管理費用（信託報酬）は毎日計上され、日々の基準価額に反映されます。なお、信託財産からは「年1回決算型」は毎計算期間の最初の6か月終了日（当該終了日が休業日のときは、その翌営業日を6か月の終了日とします。以下同じ。）および毎決算時または償還時に、「年2回決算型」は毎決算時または償還時に支払われます。 ※投資顧問会社の報酬は、委託会社が各ファンドから受ける報酬から支払われますので、各ファンドの信託財産からの直接的な支払いは行われません。 <配分>						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>委託会社</th> <th>販売会社</th> <th>受託会社</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0.86%（税抜）</td> <td>0.80%（税抜）</td> <td>0.04%（税抜）</td> </tr> </tbody> </table>	委託会社	販売会社	受託会社	0.86%（税抜）	0.80%（税抜）	0.04%（税抜）
委託会社	販売会社	受託会社					
0.86%（税抜）	0.80%（税抜）	0.04%（税抜）					
その他の費用・ 手数料	売買委託手数料、保管費用、信託事務の処理に要する諸費用、信託財産に関する租税等 原則として発生時に、実費が信託財産から支払われます。 その他諸費用（監査費用、印刷等費用、計理およびこれに付随する業務の委託等の費用、受益権の管理事務費用等。） 日々の純資産総額に年率0.05%を乗じて得た金額を上限として委託会社が算出する金額が毎日計上され、基準価額に反映されます。なお、信託財産からは「年1回決算型」は毎計算期間の最初の6か月終了日および毎決算時または償還時に、「年2回決算型」は毎決算時または償還時に支払われます。 ※上記の費用等については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を表示することができません。						

※投資者の皆さまにご負担いただく手数料等の合計額については、各ファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

委託会社、その他の関係法人の概況

委託会社	フランクリン・テンプレトン・ジャパン株式会社
投資顧問会社	ロイス・アンド・アソシエイツ、エルピー
受託会社	三菱UFJ信託銀行株式会社
取扱販売会社の照会先	フランクリン・テンプレトン・ジャパン株式会社

ホームページ <https://www.franklintempleton.co.jp>

電話（03）5219-5940（受付時間 営業日の午前9時～午後5時）







FRANKLIN TEMPLETON

フランクリン・テンプレトンは、創業以来
ベンジャミン・フランクリンの肖像画をロゴマークとしております。

創業者ルーパート・H・ジョンソンSr.は、

“With money and financial planning, prudence comes first.”
(お金を増やそうとするときに一番大切なのは、用心深さである。)

というベンジャミン・フランクリンのビジネス哲学に深く感銘し、

アメリカ建国の父でもあり、偉大な科学者、

そして優れた投資家でもあった彼の名を社名に冠しました。

ベンジャミン・フランクリンの肖像画を用いたロゴマークは、

ご投資家の皆様にとって、

フランクリン・テンプレトンの資産運用サービスに対する

信頼と安心の象徴となっております。